



# 松田山最明寺「開山800年」

松田町庶子自治会 会長 青木 治さん(城山在住)

## 最明寺と巡行供養の由来

最明寺の建立は、鎌倉時代まで遡ります。1221年浄蓮房源延上人という方が、長野の善光寺如来を模して仏像を鑄造し、それを本尊として開山されました。1249年頃には、当時の5代執権北条時頼より寄進もあり隆盛しました。その後、室町時代後期の戦乱が続き、1470年、最明寺は大井町金子に移転しました。

庶子の人々は、寺の移転を悲しみ新たに桧で「阿弥陀如来立像」を作り、「背負い厨子」に安置、家々を巡行供養するようになりました。室町時代の作と言わ

れており、松田町文化財の指定を受け、町民文化センターに展示されています。

現在は新たに製作した小型の厨子・仏像が巡行し、4月10日の例祭では、新・旧の阿弥陀如来像を最明寺史跡公園の祭壇に安置、ご供養しております。

## 庶子自治会の組織と運営

庶子自治会は会員数69名で、正副会長3役

3名と各地区から7名の役員、会計監査役の監事2名、さらに「最明寺世話役」4名、「桜観音世話役」4名で順番にしております。

毎年2月に総会を行い1年間の総括と今後の計画を提案・採決しています。例年4月の最明寺例祭に向け、2月から準備に入りますが、今年は新型コロナウイルス感染回避から文書による連絡としました。

## 令和3年は盛況な開催を祈念

今年の例祭は、新型コロナウイルス感染症の影響で来賓の招待を断念し、本部役員のみでの自粛開催となりましたが、最明寺住職ほか6名の皆様によりご供養できたこと



令和2年4月10日の例祭は自粛開催

に安堵しております。

来年は開山800年という大きな節目の年を迎え、例祭が盛況にできますよう祈念しております。

私たちは、今後も地区の安寧と繁栄、伝統ある行事を継続、次世代へ引き継ぐことが重要と考えています。令和3年4月10日、ぜひ松田山の最明寺史跡公園にお越しください。

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下記までご連絡ください。

## 第3回定例会は9月9日(水)開会 新型コロナウイルス対策のため傍聴は5席となっております。発熱等症状がおりの方はご遠慮ください。

- |       |       |      |        |       |        |             |
|-------|-------|------|--------|-------|--------|-------------|
| 委員    | 委員    | 委員   | 委員     | 副委員長  | 委員長    | 議会広報広聴常任委員会 |
| 大館 秀孝 | 飯田 一実 | 田代 実 | 古谷 星十人 | 唐澤 一代 | 南雲 まさ子 |             |

(田代)

6月定例会は、新型コロナウイルス感染症対策のため短縮日程による2日間の開催となりました。傍聴席は2m間隔とし5席に縮小議員・職員・傍聴者全員がマスク着用で臨む景色は、3月から続いています。松田町議会では、社会経済の情勢を鑑み令和2年度の政務活動に係る経費を全額カットとするための条例改正を、議員提案により行いました。また、議員報酬の減額についても検討中で年内までに提案する予定です。その頃までには、平穏な生活が戻ることを期待しております。

